

こっこめ通信 01 2013

「暖かい所がいイ」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

明けましておめでとうございます。本年もスタッフ一同、笑顔を絶やさぬように心がけていきたいと思います。そして、八丈島に来て良かったと思っていただけるようがんばりますので、よろしくお願いいたします。

いつもならば年末から年始にかけてが見頃のキダチアロエですが、今シーズンはまだつぼみがたくさん付いたままになっています。花の少ない時期だけに、長く見られると得した気分になりますね。

さて、今回は「寒い冬だからなの?」「島で見つけたリース素材」のお話です。

寒い冬だからなの?

この冬は強い寒気が流れ込むことが多く、雪の降り始めも早く、北日本では積雪量が多いようです。この寒気の影響で例年よりも越冬地が南下傾向になっているのか、八丈島にもいろいろな鳥が渡って来ています。

ウソ (アカウソ) は11月下旬にたくさん渡ってきました。これだけの数が一度に渡って来たのは2006年の冬以来のことになります。この時は春まで4ヶ月近く滞在していたので、今回も長期滞在してくれるといいですね。**キクイタダキ**もたくさん渡って来ています。小さな群れになって、植林されたスギの間をちょこちょこ飛び回っているのが観察できます。過去に島での記録はありましたが、ビジターセンターでは初確認です。**ルリビタキ**も林道沿いでたくさん目撃情報があります。漁港にいた**ユリカモメ**は疲れ切っていたので気流に乗ってしまったのでしょうか? 島へは稀に少数が渡ってきます。**シメ**も10月中旬からずっと滞在中です。例年はすぐにいなくなってしまう鳥も、今年は留まりそうなので、この先が楽しみです。頑張ってみに行ってきます!

12月になって目撃情報が寄せられた渡り鳥...ハクチョウ類?、マガモ、カルガモ、コガモ、ミサゴ、ハイタカ、ノスリ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、オオバン、キアシシギ、イソシギ、ユリカモメ、トラフズク、タヒバリ、キセキレイ、ハクセキレイ、ルリビタキ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、キクイタダキ、カシラダカ、ミヤマホオジロ、アオジ、アトリ、オオカワラヒワ、マヒワ、ウソ、シメ、ムクドリなど。



キクイタダキ

2012.12.20

こん沢林道 撮影:VC解説員TAKASU



ユリカモメ

2012.12.29

神湊漁港 撮影:VC解説員TAKASU



ルリビタキ

2012.12.27

富士縦断林道 撮影:沖山美枝子さん



ウソ(メス)

2012.12.14

永郷富士山線 撮影:沖山美枝子さん



ウソ(オス)

2012.12.14

永郷富士山線 撮影:沖山美枝子さん



シメ

2012.12.24

大賀郷東里地区 撮影:沖山美枝子さん

今回は、八丈島で鳥の写真を撮影している沖山美枝子さんにルリビタキ・ウソ(メスとオス)・シメの写真をお借りしました。

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

島で見つけたリース素材

毎年恒例になっている12月の「リースを作ろう」は、八丈島の自然素材を使って行っています。蔓であったり、花殻であったり、実であったり、植物のいろいろな部分を素材として利用できます。そこで今回は、ビジターセンターでよく利用する12種の素材を紹介します。他にもソテツやマンリョウ、アオノクマタケランなどの実も使えそうですね。自然の中には素材として利用できるものはたくさんあります。自分でいろいろな場所に行って探してみるのも楽しいですね。でも使う分だけにして、採りすぎには注意してください！

トゲナシサルトリイバラ



島のものはトゲが無いので、少し固いですが、**蔓**をリースの型として利用します。**赤くなった実**はクリスマスリースには人気の素材です。

マルバシャリンバイ



海岸沿いに多く、4月頃枝先に白い花を付けます。秋には直径1cm程の**黒紫色の実**がいくつも付き、これを素材として利用します。

オオバヤシャブシ



3月頃から花が咲き、花粉症の要因となります。素材としては**果穂**を使用します。やせた土地で初めに生えるパイオニア的な樹木です。

セイヨウアジサイ



ガクアジサイから品種改良されたセイヨウアジサイも園内に植栽されています。ドライフラワーのように**残った花**を使用します。

トベラ



海岸沿いに多いトベラは、4月頃から香りのある白い花が咲きます。素材としては開いた**果実**と粘性のある**種**をそのまま使用します。

ハマボックス



ハマボックスは海岸沿いに多く、4月下旬頃から咲き始める白い花はGW頃に満開になります。枝先にある**果皮**を根元から使用します。

スギ



八丈島ではスギは自生種ではなく、すべて植栽されたものです。素材としては**球果（スギぼっくり）**を使用します。

ヤブツバキ



冬に赤い花を咲かすヤブツバキの種子は、椿油の原料として利用されています。素材としては種子の落ちた後の**果皮**を使用します。

カイヅカイブキ



イブキの園芸品種で島では生け垣として植えられています。**切った枝先**をリースの土台に取り付け、下地の緑として使用します。

ルリゴクラクチョウカ



ストレチアは、花が咲いても実になりにくいますが、このルリゴクラクチョウカは実がよく付きます。素材としては**果皮**を使用します。

スダジイ



スダジイは、ブナ科で唯一島に自生する樹木。素材としては、**堅果（どんぐり）**だけではなく、**殻斗**に接着して一緒に使用します。

クロマツ



球果（松ぼっくり）を素材として利用します。以前は緑色に塗り、ビーズを取り付けクリスマスツリーなどにもしています。

採集する場所には所有者がいます。しっかりと確認を取ってから採集するようにしましょう！

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。平成 24 年最後の調査会は 12 月 9 日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成 24 年第 12 回） 参加者：安彦、金田、沖山、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態
草本		
1	アオノクマタケラン	熟した実
2	アシタバ	実
3	イガガヤツリ	実
4	イヌタデ	花
5	ウスベニニガナ	花と実
6	エダウチチヂミザサ	実
7	オニタビラコ	花
8	キランソウ	花
9	コスミレ	花
10	サクユリ	実
11	シチトウスミレ	花
12	ススキ sp.	実
13	チヂミザサ	実
14	ツルソバ	花と実
15	ツワブキ	花
16	ナキリスゲ	実
17	ノコンギク	花と実
18	ハキダメギク	花
19	ハチジョウアザミ	花と実
20	ハナイバナ	花
21	ヒナギキョウ	実
22	ヒメクグ	実
23	フウトウカズラ	実
24	ヘクソカズラ	実
木本		
1	イヌビワ	実
2	オオアリドオシ	熟した実
3	オオバヤシャブシ	実
4	オオムラサキシキブ	実
5	ガクアジサイ	実
6	シマクサギ	実
7	シロダモ	花
8	スダジイ	実の虫こぶ
9	センダン	実
10	ツルグミ	花
11	トベラ	実が割れる
12	ハゼノキ	紅葉

NO.	和名（島名）	状態
13	ハチジョウキブシ	蕾
14	ヒサカキ	蕾
15	ヒメユズリハ	実が残る
16	ホルトノキ	実が残る
17	マンリョウ	熟した実
18	モチノキ	熟した実
19	ヤツデ	花
20	ヤブツバキ	花
シダ植物		
1	ウチワゴケ	
2	オオイタチシダ	
3	オオタニワタリ	
4	オニヤブソテツ	
5	カニクサ	
6	コハシゴシダ	
7	シチトウハナワラビ	
8	タチクラマゴケ	紅葉
9	タチシノブ	
10	タマシダ	
11	ナチシケシダ	
12	ノキシノブ	
13	ハカタシダ	
14	ハチジョウカナワラビ	
15	ハチジョウシダ	
16	ハチジョウベニシダ	
17	ヒトツバ	胞子葉が目立つ
18	ホシダ	
19	ホラシノブ	
20	マツバラシ	
21	マメツタ	
22	ミゾシダ	
23	ヤマイタチシダ	
今回はシダ植物 23 種を含む 67 種の植物を観察しました。キランソウやセイヨウタンポポは葉を口ゼット状に広げて冬越しの準備をしていました。		

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園の中でも見られる「マンリョウ」にスポットを当ててみたいと思います。



マンリョウ

Ardisia crenata

ヤブコウジ科の常緑小低木。本州（関東以西）より南に分布。

八丈島では標高の高い場所ではなく、中腹よりも低い場所の林内で見られます。高さは 1m 近くにもなりますが、幹は太くなりません。夏に下向きの白い花を多数つけ、冬に赤くなります。

2013 八丈ビジターセンター 1 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
 この色の日は 特別行事があります		1 ガイドウォーク	2 ガイドウォーク	3 ガイドウォーク	4	●小寒 5 ガイドウォーク
		年末年始特別行事「体験八丈太鼓」 07:44 00:57 08:14 01:30 08:46 02:04 18:52 13:17 19:33 13:56 20:22 14:43			09:21 02:42 21:28 15:42	10:01 03:26 23:10 16:57
6 ガイドウォーク	7	8	9	10	11	● 12 ガイドウォーク
04:23 05:48 10:52 18:21	01:23 05:48 11:58 19:39	03:03 07:33 13:11 20:42	04:06 08:59 14:19 21:35	04:54 09:59 15:17 22:23	05:35 10:47 16:09 23:07	06:12 11:30 16:57 23:47
13 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	14 ガイドウォーク	15	16	17	18	● 19 ガイドウォーク
06:46 12:09 17:42	07:18 00:25 18:26 12:48	07:47 01:00 19:08 13:28	08:14 01:32 19:50 14:08	08:39 02:01 20:36 14:54	09:06 02:28 21:35 15:48	09:37 02:53 23:12 16:57
大寒 20 ガイドウォーク	21	22	23	24	25	26 ガイドウォーク 八丈学講座 「流人・仙次郎の仕事①」
03:19 04:01 10:20 18:21	02:30 04:01 11:29 19:41	03:55 07:12 13:01 20:40	04:22 09:00 14:12 21:25	04:47 09:51 15:04 22:03	05:11 10:26 15:47 22:37	05:35 10:56 16:25 23:08
○ 27 ガイドウォーク	28	29	30	31		
05:58 11:25 17:01 23:39	06:23 11:54 17:36	06:48 00:10 18:13 12:26	07:14 00:41 18:52 12:59	07:40 01:12 19:33 13:36		

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
1/13（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座

「流人・石工仙次郎の仕事①」

毎月行っている八丈学講座。今月は、流人として島に流された仙次郎の功績を見に行きます。
1/26（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：50円 定員：15名

年末年始特別行事

「体験八丈太鼓」

ビジターセンターの年始といえばこれ！ て～こ、はたきにおじゃれ！
1/1～3（13:30～16:45） いつでも・だれでも・無料

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2013.1.1 第140号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

他の伊豆諸島のブログを見ているととってもいろいろな鳥が渡ってきているんです。それらの鳥は八丈島までは渡って来ていないのか？それとも探さきれていないだけなのか？今年はずっとフィールド調査に出かけて、いろいろな鳥を探したいですね。（高）